

の年です

ことしはウシ年。ウシは、一歩一歩、大地を踏みしめて歩く動物です。わたくしたちの人生も、着実に一歩、一歩あゆみ出し、幸福をつかみとりたいたいのです。ウシ年にちなんで、ウシ年生まれの人たちから年賀状が届きました。さて、この人たちのことしの抱負は。ちよっと、みなさんといっしょに拝見してみましょう。

だれにも負けない牛に

谷利夫(会社員)



昭和四十八年、この新しい年は、えとでいえば丑。わたくしの年でもあります。多くの人々と友達になり多くのことを学んできました。ひとつひとつは、小さなことでも、それがわたくしの成長してきた足跡だったのです。スポーツという心がふれあう楽しい場所で、小学生、中学生、高校生、

ことしは

謹賀新年 どうぞ よろしく



→牛の写真は、伊藤正一(上植野町門山)さんが飼っています。

それはわたくしたち指導者の少しくも社会のため、何かをしたい。日本の牛が畑を耕すように、地道に、きなくとも、多くの人たちの力を集めて築きあげたことも、わたくしの成長の中にあるのです。そして、ますます自分が成長するため、いろいろなものを吸収していきたい。また、わたくし自身の長所を一段と伸ばし、短所を少しでもなくしたい。人間味のある人間になりたい。

最近になって、老人会の敬老会でわたくしのへたな歌でも、みんな喜んで聞かす。以前は、わたくし自身少しづつ成長しているのかと思っています。新しい年四十八年には、より成長し、社会のために少しでも役に立ちたいと考えています。具体的には何

もわからない。でも、ほんの少しでも社会のため、何かをしたい。日本の牛が畑を耕すように、地道に、きなくとも、多くの人たちの力を集めて築きあげたことも、わたくしの成長の中にあるのです。そして、ますます自分が成長するため、いろいろなものを吸収していきたい。また、わたくし自身の長所を一段と伸ばし、短所を少しでもなくしたい。人間味のある人間になりたい。

そのとき、自分で考てかんでいかなければならぬのです。家事手伝いなどで、日ごろ家庭にいますと、どうしても世の中の動きに鈍くなり、つい「井の中の蛙」になりがちです。適期の際ともなれば、やはり外に出て行ったり、多くの人々との接触も、自然と多くなるのが普通でしょう。

しかし、現代において、何か新しいものを感じる、とすれば、人と人との連帯意識の欠如ではないでしょうか。

わが二度目の丑年を迎えて、これからの人生を、より豊かにするために、すすんで人と和し、多くの人と語り合うことによって、少しでも平和な世の中をつくるため、努力したいと思っています。

この良縁を得たいような、またもう少し青春を築きみたいような気持ちです。戦後っ子のわたしは、父や母の時代にくらべ、物質文明に恵まれた現代の中で、しあわせな青年時代を送っているといえるでしょう。今では、それがごく普通に通かもしないけれど、いつまでもそれに甘んじているわけにもいきません。これからの人生は、自分

生きがいの ある人生を

中小路 橋(高校教師)



一年、一年と年があらたまり自分のえとの年はまだまだ先だなどと思っていたのに、早やことしは丑年とか。光陰矢の如く、日や月に変化はあるが過ぎた一年の変化は、果して進歩につながるものであったのだろうか。と、じつと、もう一度振り返って、新年に対する自分の抱負をかみしめ、生きがいのある人生の歩みを、より強く踏み出していきたいと思う。

日ごろは時間に追われ、何かと忙しく立ち働いていると、自分の生活が充実し

ていようにも感じられるが、ふとした瞬間、「果してこれでよいのだろうか。」「などという感じが胸をかすめるときがある。あま

りこれといった進歩もなく堂々めぐりを繰り返しているのかも知れない。よしんば牛の歩みは遅くとも、あの旋階段を昇るときのように、ぐるぐる回りながらも上へ上へと昇っていくわが人生であってほしいものである。

社会も年とともに揺れ動き、またことしの正月にも大ぜいの群衆の流れが、あちらこちらに見られると思うが、それにつけても、わたくしは、日ごろの生活からみて、大衆を意識し、自己を正しくつかんでい

たいようなことはなかつたであろうか、自分のとった行

年からの年賀状

人と和し豊かな人生を

中村 澄子(家事)

新年おめでと。うございませう。ことしは、わた

くしにとつて、二度目の当り年。例年になく一段と清々しい新年を迎えました。わたしたし年ごろ、ことし

この良縁を得たいような、またもう少し青春を築きみたいような気持ちです。戦後っ子のわたしは、父

や母の時代にくらべ、物質文明に恵まれた現代の中で、しあわせな青年時代を送っているといえるでしょう。今では、それがごく普通

に通かもしないけれど、いつまでもそれに甘んじているわけにもいきません。これからの人生は、自分

でつかんでいかなければならぬのです。家事手伝いなどで、日ごろ家庭にいますと、どうしても世の中の動きに鈍くなり、つい「井の中の蛙」になりがちです。適期の際ともなれば、やはり外に出て行ったり、多くの人々との接触も、自然と多くなるのが普通

六十五歳以上の医療無料化

府の老人医療費支給制度

ことしから京都府では、六十五歳以上のお年寄りに対し、老人医療費の無料化を実施します。

この制度は、さきに国が七十歳以上を対象としていたのに対し、六十五歳から六十九歳までの人を、府と市で実施するものです。

医療費の支給を受けられるお年寄り

① その世帯の生計中心者(本人も含む)の所得税が課せられていない世帯の老人

② つぎにあてはまる人で本人または扶養義務者(配偶者含む)の所得が、老齢福祉年金の所得限度額(別表のとおり)を越えない人

楽しい一年

安井喜久枝(主婦)

あけましておめでとうございませう。

しかし、時代には勝てず乳牛のように、世間のひとびとのために、何かお役に立つような婦人として、また母親として、生きがいのある日々をすごし、ときには、スポーツなど身体を動かすことで若さを保ち、楽しい一年でありたいと思います。

みなさまのご多幸をお祈り申し上げます。

この条件にあてはまる人が診察を受けるときは、医療機関の窓口へ健康保険証と老人医療費受給者証を出せば、保険の自己負担金は支払わなくてもよいことになり

③ ひとりぐらしの老人(六十五歳以上の単身者)

④ 老人世帯の老人イ、六十歳以上の配偶者のあるものロ、十八歳未満の児童を養っているものハ、重度(一、二級)の中度(三、四級)の(お問い合せ)市役所福祉課 電話(九三二)一一一番

所得限度額

(年間所得が以下の額以下の人)

本人	扶養者	額
0人	0人	380,000円
1人	0人	505,000円
2人以上	0人	505,000円を扶養親族1人につき135,000円を加算した額

配偶者	扶養者	額
0人	0人	1,323,625円
1人	0人	1,518,625円
2人以上	0人	1,518,625円を扶養親族1人につき135,000円を加算した額

⑤ 扶養親族が2人以上いる場合は、扶養親族1人につき135,000円を加算した額

⑥ 扶養親族が2人以上いる場合は、扶養親族1人につき135,000円を加算した額

⑦ 扶養親族が2人以上いる場合は、扶養親族1人につき135,000円を加算した額

1月のメモ

中で、わたくしたちは、明日への進むべき方向をしっかりと見きわめなければならぬ立場にたされたといえましょう。

ゆく年を回顧して、新しい年への希望の出発点としたいものです。

空気が乾燥

市役所内福祉事務所

電話(九三二)一一一番

市役所内福祉事務所